

後野の屋台行事

後野の屋台行事は、毎年行われる「加悦谷祭」の期間中、加悦地方の神社で行われる祭典の 1 つです。後野地区では 6 台の山車が町をパレードし、小さくも華やかな装飾が施された屋台で子供たちを運びます。子供たちは笛、太鼓、その他の伝統的な楽器で神道の音楽を演奏します。そして山車は、愛宕神社で地域の神に感謝をささげるために一時停止します。ここでは群衆が紙で包まれたお金を、山車に乗る人に投げるのを待つのです。

山車のうち 4 つは音楽を演奏し、1 つは歌舞伎を行います。この歌舞伎役者は、お祭りまでの約 2 ヶ月間練習を行った地元の子供たちです。小さな子供たちが伝統的な江戸時代の服を着て伝統的な芸術を演じるという祭りは、なかなか稀なものです。

後野の屋台行事は、京都府有形民俗文化財に登録されています。この歴史は 200 年以上前にさかのぼり、山車自体の多くも非常に古いものです。パレードとパフォーマンスは、祭りが行われる 4 月の最後の土曜日と日曜日の両日に開催されます。